

§ B V S - 3 プログラム開発と年間計画

13:00~14:30 (90分)

<p><u>目 標</u></p> <p>参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隊集会に必要なプログラムのヒントを知る。 2. プログラム開発の必要性を理解する。 3. スカウト技能をビーバースカウト年代の特性に合わせてプログラムにアレンジできる。 4. 年間プログラムの作成ができる。
--

指導上のねらい

1. ビーバースカウト年代向けのゲーム、クラフト、ソングなどの体験を通じてプログラム立案のヒントを与える。
2. プログラムのヒントは様々な場面で得ることができることを理解させる。
3. スカウト活動の特徴である自然の中での活動やスカウト技能を応用したプログラムがビーバースカウト部門でも大切であることを理解させる。
4. 年間プログラムの作成を通じて、年間プログラムの立案過程を理解させる。

準備品(資材・資料)

- ・プログラム体験に必要な備品一式
- ・BVS 隊長ハンドブック
- ・参考書籍「スカウトハンドブック」
- ・ハンドアウト「年間プログラム」(スタッフが作成したもの)
- ・ワークシート「年間プログラム」

セッション展開

時間	セッション内容	指導上の留意点・準備品・支援
13:00	<p>1. 導入・・・・・・・・・・・・・・・・ (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このセッションの目標について説明する。 ・ § 1、§ 2について振り返る <p>*アイデアからプログラムを開発する手順を体験実習してもらうことで理解し、年間プログラム作成、隊集会プログラムの実習に繋げるようにする。</p> <p>(このセッションではプログラムは隊集会で実施する具体的な内容を</p>	

	<p>動</p> <p>のニーズなど様々な要素が考慮されて、バランスの良い年間プログラムになっているか確認する。</p>	
14:25	<p>4. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (5分)</p> <p>(1) 工夫してプログラムを開発することが活動の幅を持たせ、楽しいプログラムを実施することに繋がることを強調、伝える。</p> <p>(2) ビーバースカウト活動の目標が反映されていること、進歩科目を含めた様々な要素が考慮されて、バランスのとれた年間プログラムになっていることがスカウトの興味を持続させ、スカウトの成長を促すことに繋がることを強調し理解させる。</p> <p>(3) 年間プログラムのアイデアは会議室など、硬い雰囲気な中でなく、喫茶店など、和やかな雰囲気の中で行うことで様々なアイデアがでてくることを添える。</p>	